



セーフティーマイタウン新城

10月11日(月)から10月20日(水)までの10日間実施

秋の安全なまちづくり県民運動

秋の深まりとともに、そこかしこから虫の音が聞こえ、過ごしやすい季節となりました。本年度上半期の県内の刑法犯認知件数は減少傾向が続いているものの特殊詐欺の認知件数は3月以降増加傾向を示し、5月には被害金額が前年同期を上回る金額となっています。

県民一人一人が防犯意識を高め犯罪を起こさせない環境作りに取り組ましましょう。



市内でも特殊詐欺が昨年より増加

オレオレ詐欺やキャッシュカード詐欺盗など従来の手口から新しい手口までいろいろな手口で騙してきます。

架空請求や還付金などお金に関わる話し、暗証番号やキャッシュカード、口座に関わる話しなどは詐欺だと疑いましょう。

一人で行動する前に誰かに相談しましょう。

「空き家」が泥棒に狙われています。

～空き家にも防犯対策を～

仏壇や家具などそのまま置いてある場合が多くあります。「こんな物誰も盗まないだろう」と思いがちですが、泥棒にとって換金できるものはお宝になります。

～空き家の防犯対策～

- 普通の家と同じように、ツーロック。雨戸やシャッターも閉めましょう。
- 脚立や自転車、エアコンの室外機など侵入の足場となるものは片づけておく。
- 垣根などの剪定、除草を行い見通しを良くしておく。
- 高価な物は置かないようにする。



市内地区別街頭犯罪(重点罪種)の特徴

【令和3年、令和2年、8月末対比】

